

嘉麻市立織田廣喜美術館の主な取り組み

1	基本的サービス	1 アートを身近に	・美術館を知って利用者を増やす ・作家、専門家と直接触れ合う機会の創出 ・新たな作品展の開催
2		2 地域との共創	・ボランティア、学校、他施設等と連携、協力する ・アウトリーチ事業の充実 ・市民参加型事業の開催
3		3 施設の有効利用	・融合施設となることで魅力度を高める ・新たな利用者への積極的な広報 ・施設そのものの価値の再認識
4		4 アートとつながり心豊かな感性を育む	・子どもたちの美術的意識の高揚につながるよう、芸術鑑賞や創作活動を支援 ・市民文化の創造拠点としての支援
5		5 ユニバーサルデザインの7つの原則に基づき誰もが利用しやすい環境づくり	＊7原則 ・誰でも使えて手に入れることができる ・柔軟に使用できる ・使い方が簡単にわかる ・使う人に必要な情報が簡単にわかる ・間違えても重大な結果にならない ・少ない力で効率的に、楽に使える ・使う時に適当な広さがある
6		6 美術館活動の広報活動強化 SNS、紙媒体などさまざまな年代に有効な方法の検討	・ホームページ、Facebook、Twitter、Instagramなどでの発信 ・日常SNSを利用しない利用者への利用案内を行う

令和7年度事業計画

	区分		実施目標	実施事業	事業内容	
7	1 文化芸術活動推進事業	アートを身近に	・アートを身近に感じ、楽しむ環境を提供する ・心豊かな感性を育む機会の創出	美術館があるまち～市民文化の創造拠点としての支援～	・美術館を利活用する団体や個人を支援する ・様々なジャンルのアート作品に出会う機会を提供する ・作家、専門家と交流や学びの機会の創出 ・子どもたちの美術的意識の高揚につながるよう、芸術鑑賞や創作活動を支援 ・サロンなどでいつでも気軽に創作活動体験できる環境づくり	
8			・文化の拠点としての美術館づくりを市民の認知につなげる ・新たな利用者の開拓のために、利活用の提案、広報の強化	貸館（展示室5、アトリエ）の利用推進	・講座から発足した市民アトリエの通年利用グループの育成 ・市文化協会等の関係団体との連携 ・個人、団体の作品展示や創作活動の支援 ・作品展示だけではない活用提案を行う（展示室5） ・新たな利用者への積極的な広報や利活用の提案 ・快適で清潔な環境保持	
9			・幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する ・特別企画展を観光資源として、集客を図る	絵本の原画展	柴田ケイコとくいしんぼう	6月14日 ～8月31日
10			・多部門の展示がある県展、巡回展に興味関心を持ち、感性を磨く機会を提供 ・搬入搬出・展示替えを効率的に行う	第80回県美術展覧会 筑豊巡回展	・福岡県美術展覧会の日本画、洋画、デザイン、写真、書の5部門の中から、公募の部の入賞、入選作品及び筑豊地区の県美術協会会員の作品を3期に分けて展示する ・事前に筑豊巡回展実行委員会（各部門より）を開催し、会場の打合せを行う。作品展示は実行委員の指導のもとに業者が行う ・各会期の最終日に県美術協会会員による合評会を行う ・事後に筑豊巡回展実行委員会を開催し総括を行う	<u>10月29日</u> <u>～11月16日</u>
11			・常設以外の収蔵作品を公開し、美術館のファンを増やす ・ホームページやSNSを活用し、幅広くPRし周知に努める	春のコレクション展	・収蔵作品を活用した展覧会を開催する ・常設以外の作品を切り口を変えて展示 ・ホームページやSNSを活用し、幅広くPRし周知	<u>令和7年</u> <u>3月14日～</u>

令和7年度事業計画

	区分		実施目標	実施事業	事業内容	
12			・幅広く優れた芸術作品鑑賞を行う機会を提供することにより、芸術への興味と関心を深め、心豊かな感性を磨く機会を提供する	企画展	・「もののいきもの 富田菜摘展」 金属廃材の動物や新聞や雑誌を用いた人物作品などの展示 ・TRC社内のコレクションを活用	令和6年 3月15日 ～4月13日
13		アートを身近に	・市民の作品発表の場を提供し、創作意欲の向上を図る	オダビ展	・より多くの嘉麻市民や近隣住民に美術館へ足を運んでもらうことを目的に、嘉麻市民や嘉麻市近隣に在住の作家の作品を紹介 ・美術館で展覧会を開催したいという夢を応援。モデルケースとなることを目指し、個人・団体を問わず、絵画や立体作品など多様なジャンルを一堂に展示し、より幅広い層の方々に美術館の魅力を伝える場とする	4月26日 ～5月11日
14	1 文化芸術活動推進事業		・作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する ・講師やボランティアとの交流で学びを深める	アートキッズ	・様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施 ・作品鑑賞や創作活動を通じて、子どもたちの豊かな感性と創造力などを培う機会を提供する ・対象 小学生（市内優先） ・募集定員 15名程度 ・全10回 日曜日開催 ・学びの成果である作品は、AK展を開催し、展示会準備の体験も取り入れる	6月22日 ～令和8年 2月23日
15			・創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施 ・創作活動の楽しさを実感でき、学びを深める機会を提供する	子ども向けワークショップ(WS)を開催 ・おだびアートラボ等	・特別企画展の関連企画として図書館と連携して実施したり、気軽に楽しむことを目的としたWSなどを実施する。 ・夏休みに創作、体験の講座を開催 ・他の参加児童と交流しながら創作することの楽しさを体感する	夏休み期間

令和7年度事業計画

	区分		実施目標	実施事業	事業内容	
16	1 文化芸術活動推進事業	アートを身近に	・図書館との連携講座を行い、創作体験前後の学びの機会を広げる	大人向け講座の開催（大人の学美塾） ＊図書館連携講座	・専門家の指導のもと、様々な創作体験や芸術に関する知識を習得できる講座を実施	令和7年 1月～2月
17			・アートとつながり心豊かな感性を育む ・子どもたちの美術的意識の高揚につながるよう、芸術鑑賞や創作活動を支援 ・新たな利活用の案内や提案を積極的に実施	美術館を活用した学校教育活動支援	・美術館見学、アート体験等の受入れ ・利用案内の作成 ・活動プログラム等を作成 ・児童・生徒等の芸術作品鑑賞や創作活動の支援 ・学校での出前学習を行う	学校の申請時期に併せて実施
18			・地域との共創の機会を創出し、町に美術館をがある価値観の向上を図る	大学等連携	・ボランティア、学校、他施設等と連携、協力し美術館の役割を再認識する機会を創出 ・大学等との連携企画 ・インターンシップ等の受入れ ・学生ボランティアを募集	
19	2 美術館運営管理業務	施設の有効利用	・誰もがSDGs 17の目標を理解し行動するために、自治体での取り組みや学校、地元企業等の取り組みも紹介する場を提供する	市民の生涯学習の支援	・ユニバーサルデザインの7つの原則に基づき誰もが利用しやすい環境づくり ・公平・平等なサービスの提供 ・柔軟に対応し、公平な利用環境をつくる ・市民の理解を深め、実践するためにSDGsを知る機会と場を提供	
20			・施設及び設備を適切に管理し、事故を未然に防ぎ、常に安全で安心して利用できる施設の管理運営	美術館や琴平公園の安定した維持管理と運営	・施設及び設備を適切に管理し、事故を未然に防ぎ、常に安全で安心して利用できる施設の管理運営 ・隣接する芝生広場が人々の憩いの場として快適かつ安心して利活用できるよう環境美化と維持管理を行う	
21			・美術館と公園との融合施設となることの相乗効果で魅力度を高める	琴平公園も一体化した利用促進	・施設そのものの価値の再認識 ・利活用のための積極的な広報を行う ・快適で清潔な環境保持	
22			・必要に応じた修復や保存処理を行い、資料の保護に努める	資料の収集及び収蔵作品等の適切な保存管理と幅広い活用	・適切な収蔵場所での保管 ・収蔵庫の燻蒸、定期清掃 ・修復や保存処理を行い、資料の保護に努める ・デジタル資料の活用	
23	4 美術教育普及事業	専門家／各種団体・機関等との連携	・外部団体等と連携、協力し美術館の役割を再認識する機会を創出 ・町に美術館をがある価値観の向上を図る ・観光資源としての連携協力	各種講座、イベント等の開催	・観光まちづくり協会などと連携し地域のイベントに参加 ・アウトリーチ事業の充実、講師派遣 ・嘉麻市他部課と連携協力 ・文化（郷土資料や歴史）の保存継承 ・遠方から展覧会、美術館を観るために訪問するきっかけとなるように広報活動を行う	
24			・美術館と一体となって活動し、相乗効果で利活用の増加を図る	市立図書館とのコラボ企画、郷土館・平和祈念館・琴平公園との連携	・図書館と美術館の協働企画 ・図書館の除籍資料の利活用 ・出張古本譲渡会の開催 ・アウトリーチ活動など美術館と一緒に対応できる項目を提案	

令和7年度事業計画

	区分		実施目標	実施事業	事業内容
25	4 美術教育普及事業	専門家／各種団体・機関等との連携	・利用者ニーズを把握し、効果的な広報活動を行う	広報活動強化	・織田廣喜をはじめ、地域ゆかりの作家の偉業を継承する ・様々な年代や環境にあっても、必要な人に、必要な情報が届くような広報活動を実施 ・マスコミへの情報提供 ・「おだびのこよみ」作成配布 ・嘉麻市の観光やまちづくりの担当課と連携協力し周知 ・利用者アンケートの実施 ・関心分野・満足度の分析 ・速やかな情報更新
26		ボランティア活動支援	・市民主導で文化を育てるためのボランティア活動の場を創出	ボランティアの活動の機会と場の提供	・美術館を応援する個人ボランティアの育成 ・子どもの関わり方等を学び、事業内容の充実を図るとともに情報提供を行う ・スキルアップ講座の実施 ・ボランティア自身も希望により創作活動や作品展示を体験する
27	職員の資質の向上		①館内研修の実施（eラーニング等）	・スタッフの技術能力に応じた必修研修の受講 ・ハラスメント、業務改善、コーチングなど役割に応じた研修	
28			②外部研修等に参加	・他館職員との交流研修も積極的に参加	
29			③スキルアップによるやりがいの創出	・研修の機会を平等にし、知る機会を確保する ・業務改善の推進	
30			④安心安全な環境づくりと対応研修	・利用者クレームに対する研修 ・AED使用法の研修実施 ・非常時の対応訓練実施	